

くすのき



～ 秋が深まってまいりました ～

秋風が、肌寒く感じるようになってまいりました。今月は、5年生の自然学校、6年生の修学旅行が実施されました。行事を通して、それぞれの学年の発達段階に応じた子どもたちの成長が見られ、私たち教職員も喜びを感じています。

さて、子どもたちの様子をみていますと、この朝晩と日中の気温差が大きいからか、体調を崩し、発熱や頭痛、腹痛、風邪症状等のために欠席する児童が少しずつ増えてきています。何事も健康が第一です。子どもたちの体調管理をお願いいたします。

また、「秋の日はつるべ落とし」と申しますように、いつの間にか日が暮れるのも早くなりました。子どもたちの帰宅時刻についても安全を考慮し、加古川市内の小学校統一で、10月から17:00になっています。ご家庭でも、子どもたちの身を守るためにも、17:00帰宅の徹底をよろしくお願いいたします。



～ 奈良・京都方面への修学旅行（6年生） ～

6年生の子どもたちは、この10月20日（木）～10月21日（金）の2日間、奈良・京都方面の修学旅行に元気いっぱい行ってきました。修学旅行は「児童が文化的に重要な地を見学して見識を高め、情操を深める」ための教育活動で、1886年に東京師範学校が最初に行ったものが全国に広がったといわれています。今回の修学旅行も、古都である奈良や京都の文化に触れ見識を高めるなど本来の目的にそったものでした。

1日目は、まず法隆寺に。平城宮でお弁当を食べた後、奈良公園でのグループ活動。大仏殿では、大仏様の大きさに驚き、鹿とふれあいながら見学してまわりました。そこからバスで移動し、京都市内の旅館に入りました。

2日目の午前中は、京都市内の名所巡り。鹿苑寺金閣、清水寺を巡りました。午後から太秦映画村でお弁当を食べ、自由行動。あっという間に2日間が過ぎました。

修学旅行中、歴史的な建造物を目の当たりにし、日頃体験できない学びがあったようです。また、子どもたちが楽しみにしていたお土産をかう活動や仲間とともに過ごしたバスでの道中、旅館での夜も、心に残る思い出となったようです。



～ お知らせ ～



先日、体育館のLED照明取替工事が行われました。6年生の理科で学習しますが、LED照明には「光源が長寿命」「消費電力が少ないため省エネや環境への配慮にも有効」「紫外線・赤外線の出が極めて微量（図書や絵画等の保存箇所等に有効）」「調光が可能」「点灯消灯を繰り返しても寿命には影響がない」などの数多くの利点があり、SDGsの観点からも有効であるとされています。新しくなった照明の下、音楽会の練習が始まっています。

11月の行事予定

- 2日（水）チャレンジクラブ（囲碁のみ） PTA 常任委員会
3日（木）文化の日 4日（金）くすのき学級「お店屋さん」
7日（月）諸費振替日① 全校朝会 委員会活動
トライやるウィーク（～11日まで）
8日（火）1年校外学習（日岡山公園）
9日（水）チャレンジクラブ（囲碁のみ）
10日（木）1年校外学習予備日（日岡山公園）
14日（月）委員会・クラブなし（3年生以上6校時） 家族の週間（～26日まで）
15日（火）校内音楽学習発表会 諸費振替日② ベルマーク収集日
子ども安全の日 安全点検
16日（水）一斉下校 下校指導 チャレンジクラブ（囲碁のみ）
17日（木）音楽学習発表会
20日（日）家族の日 21日（月）クラブ活動
22日（火）2年町たんけん（加古川駅・市立図書館） 23日（水）勤労感謝の日
24日（木）3年環境体験学習（日岡山公園）2年町たんけん予備日
班長会議 スクールカウンセラー来校日
25日（金）3年環境体験学習予備日 避難所運営委員会
28日（月）委員会・クラブなし（3年生以上6校時）



12月の主な行事予定

- 5日（月）全校朝会 委員会活動 7日（水）チャレンジクラブ（囲碁・キンボール）
9日（金）PTA 常任委員会 12日（月）全校5校時まで（委員会・クラブなし）
14日（水）PTA 新学年委員選考会 チャレンジクラブ（囲碁・棋類）
16日（金）4年校外学習 19日（月）委員会・クラブなし（3年生以上6校時）
21日（水）給食終了 22日（木）地区児童会 一斉下校 11:45 下校指導
23日（金）第2学期終業式 11:45 下校 24日（土）冬季休業日（～1/6）

～ ハチ高原での宿泊自然学校（5年生） ～

2泊3日の自然学校に本校の5年生が行ってきました。兵庫県の特徴ある教育活動である自然学校は、「学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、人や自然とふれ合い理解を深めること、長期宿泊体験を通して、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力や生命に対する畏敬の念、共に生きる心を育むなど、‘生きる力’を育成すること」を目的としています。また、本校もその目的にそって、「自然を発見」「仲間や周りの人の良さを発見」「自分を発見」というねらいをもって実施しました。

プログラムについては、ミマモルメにて配信した通りです。子どもたちは、社会生活、集団生活に必要な「時間をきちんと守り、ルールに従って行動することの大切さ」を学びました。そして、仲間とともに達成していくこと、創り上げていくことの喜びを味わいました。

ほとんどの児童にとって、これだけの期間、親元を離れた環境の中で集団生活をおくことは、初めてで貴重な体験になったことと思います。3日間を仲間の励ましや教師や補助員、救護員の支えによって乗り越えたことが、これからの生活に大きな自信となってくれることと思います。

